

予算等審査特別委員会 6月13日~14日

予算等審査特別委員会(議長を除く21人の議員で構成、委員長萩野茂男議員、副委員長織笠孝之議員)は専決処分3件、条例4件、その他2件、予算1件の議案について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今委員会では市税条例、市民センター・かしわぎだいら交流施設条例の一部改正とその指定管理者の指定等について活発な質疑が交わされました。その結果、全10議案が原案のとおり承認・可決されました。



▲委員会では活発な審議が行われた

期待されるかしわぎだいら交流施設

市民センター関連施設の指定管理とは

【質問】 指定管理者の予定者と、その効果は。

【答弁】 審査の結果、「(株)遠野施設管理サービス」が候補者として選定された。市民センター関連施設の一体管理と利用料金制の導入を図り収入を上げ、経費の削減効果を期待する。

【質問】 具体的な経費削減効果は。

【答弁】 人件費が3年平均で1億1千6百万円かかっていたが、約1千万円の削減効果は期待できる。

【質問】 民間管理会社に管理委託することによって、公共サービスの質の低下を招かないか。

【答弁】 指定管理会社とは協定を結び、施設毎に管理仕様書を作成し、民間のノウハウを導入することにより、公共サービスの向上が従前にも増して図られると思う。月1回の定期と随時に業者と協議会を開くこととし、利用者である市民の代表も加えることを検討している。

かしわぎだいら交流施設の管理について

【質問】 応募が2社あった中で、柏木平レイクリゾート(株)に決定した理由は何か。

【答弁】 一方の会社は、販売中心で数年をかけて買収するという形である。柏木平レイクリゾート(株)は、短期間に株式譲渡を受けという考え方で、経営に関与する度合いが強いということで選定になった。

【質問】 ビールの販売について努力してきたと思うが、今までとどこが違うのか。また、ジンギスカンを活用するとあるが、目新しいものではないと思うが。

【答弁】 指定管理者が提示している販売方法はなかった。遠野名物ジンギスカンハウスとして、ビールと共に提供する。

【質問】 全体売り上げ目標は。

【答弁】 5年計画を立てている。平成20年度は、5,390万円となっている。

【質問】 ブロイハウスを含めた指定管理者の指定は、今までの赤字累積が続き、補助金や増資が続くことで現在と同じことになる。行政がビール事業から完全に撤退するか、完全に譲渡をしない限りその責任を負うことになり、経営が行き詰まると、補助金支出の要件が残ってしまうのでは。

【答弁】 レイクリゾート(株)は、今後市に対して支援を求めることはない。そして、80%以上の株を取得することになっている。

【質問】 20%の株所有では、監査請求も出来なくなるのでは。

【答弁】 確かに25%以下になれば監査義務はなくなるが、今後、議会に対して報告はする。

【質問】 株を20%残すことは経営責任を負うことになるのでは。

【答弁】 これ以上の財政支援はしない。



▲指定管理者制度が導入されるふるさと交流館